

平成27年度 第二次研究協議会 レポート様式および内容について

石中社研究員 飯田 浩貴
(千歳市立千歳中学校)

<共通様式>

1行目左端に「分野」を明記
MS明朝 20ポイント
囲み線で囲む

1行目中央に記述
MS明朝 20ポイント

2・3・4行目右端に記述
MS明朝 10.5ポイント

歴史

石教研社会科（中）部会レポート

平成27年10月16日（金）
〇〇市立〇〇中学校
氏名

《項目例》

- 1 単元（題材）名
- 2 習得させたい知識や概念
～単元の中で習得させたい知識や概念を中心に書いてください。従来のように、単元観を詳細に書く必要はありません。
- 3 表現力を高める学習活動
～ここが今年度の研究の中心的なポイントとなります。「社会的な見方や考え方を活用した思考について」も触れていただくと、より充実した内容になります。
- 4 取り扱う単元・単元の指導計画
～本時の学習の位置づけが見える程度で十分です。
- 5 本時の略案
～留意点や工夫を盛り込んでください。特に、学習場面のどこに「表現力を高める活動」があるのかを明示してください。
- 6 実践後の評価

4月に配布した「研究の概要と今年度の研究」でも提示いたしましたが、今年度は「社会的な見方や考え方に基づく思考を表現する活動」について、先生方の実践をレポートにまとめていただきたいと思います。

レポートの基本様式および内容は上記の通りです。必ずしも《項目例》通りとする必要はありませんが、以下の点を考慮していただくと幸いです。

- ① 本時の学習の中で、「表現力を高める活動はどこか」が具体的に明示されていること。
- ② 表現力を高めるための工夫（社会的な見方や考え方、思考）が書かれていること。
- ③ 視覚的にわかりやすく、読みやすい内容であること。

8月上旬までには、石中社HPにプロジェクト試案をupする予定ですので、ご活用ください。宜しく申し上げます。